



◇基本方針

1. だれもがゆったりと寛げる憩の場となる施設

- ・ ゆったりとした広さの内風呂浴槽と露天風呂浴槽で温泉を楽しめます。
- ・ 温泉だけでなく、炭酸泉やサウナなど多様な種類のお風呂を計画します。
- ・ 家族風呂は、車いす使用者とその介護者が利用できるバリアフリーに配慮した計画とします。
- ・ 風呂上がりの多様な寛ぎ方に対応した大広間、個室、リラクゼーションルームなどを計画します。

3. みどり市の魅力を発信し、体感できる施設

- ・ 地元林業を活かし、木造架構の採用と内装仕上の木質化を図り、木の温もりを感じられる施設とします。
- ・ 浴室湯沸熱源のひとつとして薪ボイラーを利用します。
- ・ 薪置場を外から見える設えとし、木材活用を「見える化」します。
- ・ 物販コーナーでは「みどり市ブランド」の販売も想定し、みどり市ならではの魅力をアピールできます。

◇計画概要

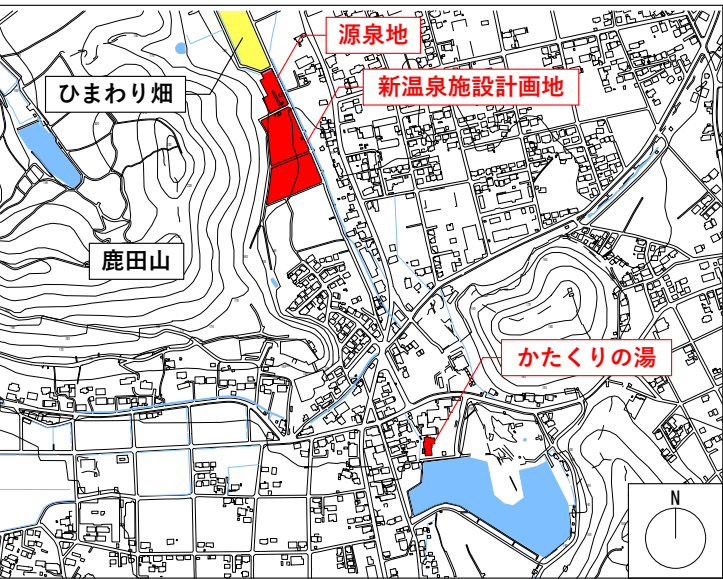
計画地	みどり市笠懸町鹿2559-1番ほか
都市計画	都市計画区域内・市街化地域非設定・用途地域無指定
主要用途	公衆浴場
構造／規模	木造・鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造／地上1階
建築面積	2,086.96㎡(敷地内の建築物の合計) ・施設本体：2,077.96㎡ ・足湯：9.00㎡ (源泉地薪置場：10.40㎡)
法定延床面積	2,107.53㎡(敷地内の建築物の合計) ・施設本体：2,082.53㎡ ・足湯：25.00㎡ (源泉地薪置場：36.40㎡)
最高高さ	8.24m
駐車場	計130台(うち、一般100台・福祉6台・職員24台)
基礎	直接基礎
排水処理	公共下水道接続

2. 多世代の市民交流や賑わいの創出に寄与する施設

- ・ 卓球やスポーツ吹矢、八木節の練習など、様々な市民活動の場として利用可能な多目的室を計画します。
- ・ フリーマーケットや青空市場などのイベントが開催できる十分な広さの多目的広場を計画します。
- ・ 鹿田山フットパス利用者も気軽に利用できる足湯を計画します。

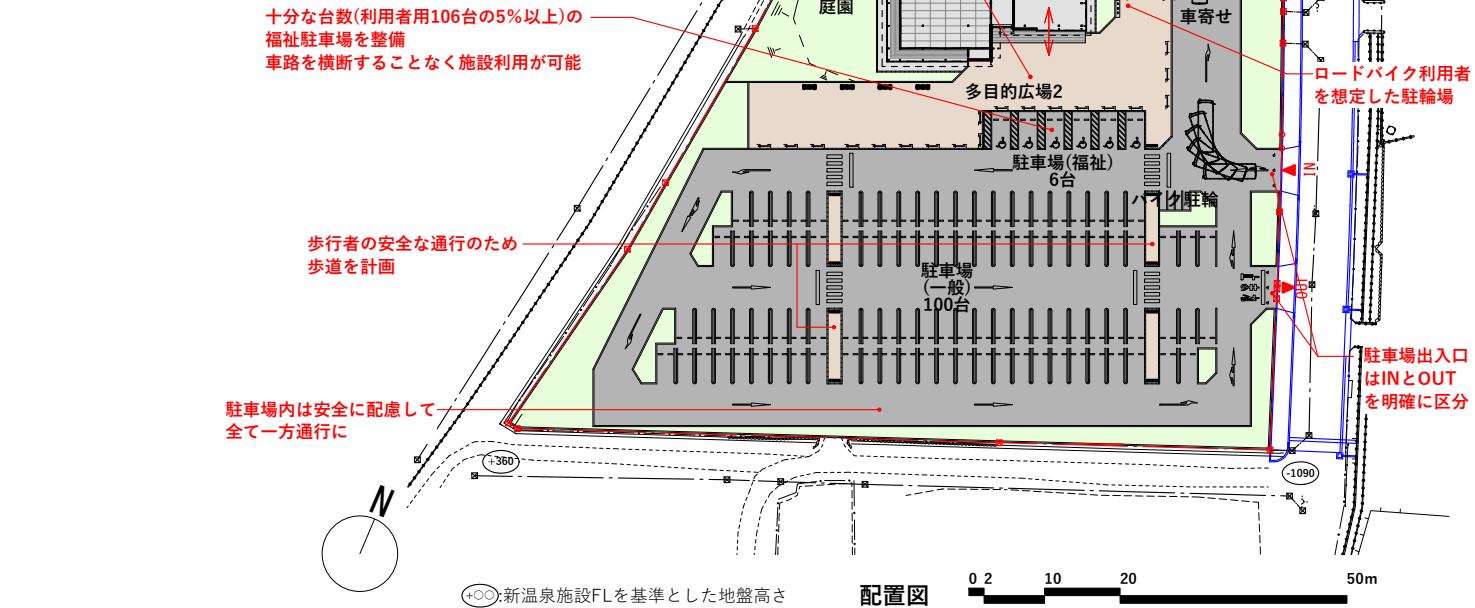
4. 災害時にも安心を提供できる施設

- ・ 非常時の安全性を保ちながら、一定の機能が維持できるよう事業継続計画（BCP）を盛り込みます。
- ・ 発災後にも入浴サービスを提供できる防災機能を高めます。
- ・ 多目的広場1は、発災後の退避スペースとしても機能します。軒下空間をつくることで地域の炊き出しなどの拠点としても活用できます。



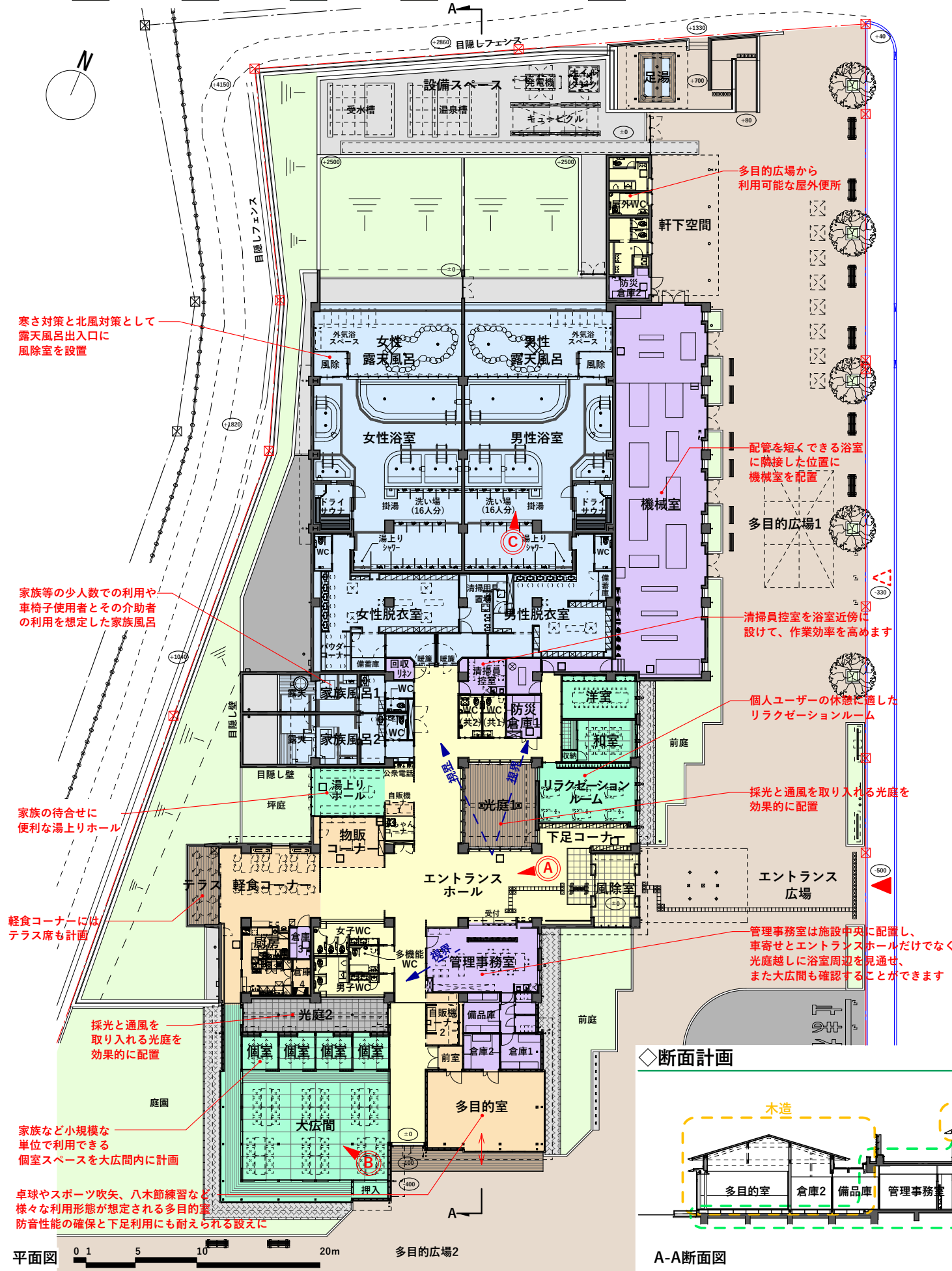
◇配置計画

- ・ 鹿田山の麓にその稜線と調和する勾配屋根の連なるシルエットの建物を計画します。
- ・ 計画建物は源泉地に近い敷地の北側に配置し、温泉配管を短くすることができる合理的な計画とします。
- ・ 源泉地の地上工作物を撤去し、北側ひまわり畑方向への視界の抜けを確保します。
- ・ 多目的広場とひまわり畑、鹿田山フットパスと足湯との連携を考慮した配置とします。
- ・ 計画建物、車寄せ、駐車場はだれもが使いやすいユニバーサルデザインに配慮した計画とします。



施設の概要や計画内容などは、詳細の検討により変更が生じる場合があります。

◇外装仕上イメージ



◇外装仕上イメージ

◆外壁
…明るい印象の薄灰色の仕上塗材
落ち着いたある樺茶色の仕上塗材

◆木架構
…エントランス正面に配した
樹形の木造屋根架構



- ・利用者が心地よく利用できる場に相応しい落ち着いた色調とするとともに、市産材を活用し明るく温かみのある内装仕上とします。

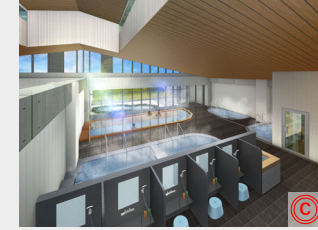
エントランスホール



大広間



浴室



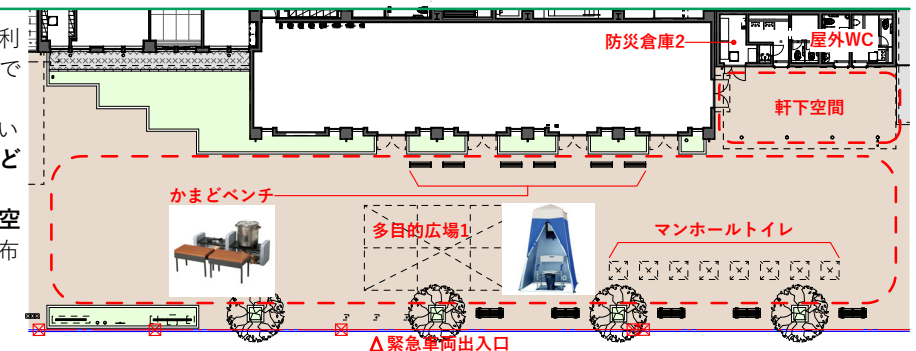
市産材の活用(矢羽根網代)



・災害時に温泉施設の利用者及び従業員の人命を守るとともに、避難所に準ずる施設(一時避難所)として、**発災後に市民に温浴サービスを提供可能な施設**とすることで、市内の災害対策の強化を図ります。

		インフラ停止		
		停電発生時	給水管破損時	排水管破損時
上水		発電機電源を使用して、受水槽加圧給水ポンプに電源供給し、上水使用可能	受水槽貯水量分の上水が使用可能	
下水				マンホールトイレが使用可能
電力	非常用発電機	発電機から必要機器へ72間電源供給可能		
	太陽光発電	管理事務室内に設置した太陽光専用コンセントを使用可能		
温泉		温泉槽貯湯量分を浴室浴槽にて利用可能 ※上水沸かし湯による湯張り・シャワーは72時間以内は利用可能	温泉槽貯湯量分を浴室浴槽にて利用可能	

- ・災害時の屋外避難や、緊急車両の活動空地としても利用可能なオープンスペースとして**多目的広場**を利用できます。
- ・多目的広場に、通常時はベンチとして、災害時にはおいては炊き出し等に「かまど」として使用可能な**かまどベンチ**を整備します。
- ・多目的広場と連続する屋根に覆われた**半屋外の軒下空間を整備し**、発災後の炊き出しや災害用備蓄品の配布等の市民サービス提供にも役立つ計画とします。
- ・災害用備蓄品を収納する**防災倉庫**を整備します。



Architectural cross-section diagram of the building. The diagram is divided into sections by dashed lines. From left to right, the sections are:

- 木造 (Wooden structure):** 多目的室 (Multi-purpose room), 倉庫2 (Warehouse 2), 備品庫 (Storage room).
- 木造屋根架構 (Wooden roof structure):** 管理事務室 (Management office), エントランスホール (Entrance hall), 光庭1 (Light courtyard 1).
- 鉄筋コンクリート造 (Reinforced concrete structure):** 防災倉庫1 (Disaster relief warehouse 1), 消火ポンプ室 (Fire pump room), 男性脱衣室 (Men's locker room), 男性浴室 (Men's bathroom), 露天風呂 (Open-air bath).
- 鉄骨屋根架構 (Steel frame roof structure):** 露天風呂 (Open-air bath).
- 設備スペース (Equipment space):** 設備スペース (Equipment space).

A scale bar at the bottom indicates 0, 1, 5, 10, and 20m. A vertical red line on the right indicates the 道路境界線 (Road boundary line).

施設の概要や計画内容などは、詳細の検討により変更が生じる場合があります。